公開講座

京都大学　理学研究科・理学部
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE
FACULTY OF SCIENCE
KYOTO UNIVERSITY

参加お申込
（一般企業様）

京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム 2026
第11回サイエンス講座

ナノ計測で探る 鉱物・地球・太陽系

出入り自由
事前登録制
12/6 申込〆切

日　時　2026年 12 月 7 日（月）13:00～15:35

方　式　対面／オンライン(Zoom)　＊12:50 Zoom入室開始

対　象　コンソーシアム会員、一般企業、京都大学の学生・教職員

13:00～13:20

理学の知は産業の未来をどう拓くか
― 研究と人材をつなぐ産学共創の取り組み ―
理学研究科付属サイエンス連携探索センター　森脇 一匡　教授

理学研究科は産業界とともにコンソーシアムを設立し、基礎研究で育まれる思考力を社会とつなぐ取り組みを進めています。
本講演では教育面と研究面からその意義をお話しします。

13:25～14:25

講演「観察・分析技術の進歩と鉱物科学への適用」
理学研究科　地球惑星科学専攻　三宅 亮　教授

近年目覚ましく進展している透過型電子顕微鏡や、集束イオンビームと走査型電子顕微鏡の複合装置を、地球惑星科学、鉱物科学の分野で活用した例を紹介する。

14:35～15:35

講演「鉱物の電子線計測と地球惑星科学応用」
理学研究科　地球惑星科学専攻　伊神 洋平　准教授

鉱物の個性は地球や惑星の歴史を読み解く基礎となります。様々な空間階層にわたり関連しあう構造的特徴を探る計測・分析や、地球惑星科学との関係性について紹介します。

15:40～17:15　懇親会＆意見交換会　※会員企業様限定

■サイエンス講座とは

理学研究は基礎科学であり、社会課題の解決を目指す産業界の研究とは距離があるように思われがちです。しかし、新たな知識を得るために技術や解析法を開発する点では、産業界の研究開発と共通しています。サイエンス講座では、理学研究ならではのテーマを取り上げながら、それを支え、牽引する技術や解析方法について、実際に研究に取り組んできた研究者ならではのエピソードを交えて紹介します。理学研究を身近に感じていただくとともに、産業界の方には新たな発想のきっかけとして、学生の皆さんには教科書では学べない貴重な学びの機会として、ぜひご参加いただければと思います。

京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム事務局
京大オリジナル株式会社

詳細はコチラ ☞　理学共創コンソーシアム